

☎平和和人権課 ☎0422-29-9032

平和への願いを込めて

三鷹市平和の日 記念式典



「三鷹市平和の日」の制定を記念して、11月29日(日)に式典を開催します。式典では、三鷹市平和文化功労者を顕彰するほか、市内の中学生が長崎市を訪問した「中学生長崎市平和交流派遣事業」の報告会を行います。

📅11月29日午前10時～午後0時40分
👤120人 所三鷹産業プラザ
📍当日会場へ(先着制)

三鷹市平和文化功労者

芸術やスポーツ、青少年育成、国際交流など、さまざまな分野における活動を通じて、平和文化の振興に寄与した市民(故人)の功績を顕彰し、その一層の定着を図るための制度です。今年度は、下記の7人を顕彰することに決定しました(敬称略)。

- ◆荻村伊智朗(1932～1994年)
卓球を通じた国際交流とスポーツ外交で、平和と相互理解を促進。
- ◆井上五郎(1923～2001年)
戦時下の体験記録の編集・発行と市民募金による「平和の像」の建立に尽力。
- ◆小尾靖夫(1921～2007年)
ガダルカナル島での体験を後世に伝え、平和教育と記憶の継承に貢献。
- ◆高畑勲(1935～2018年)
アニメーションを通じて戦争の悲惨さと平和の尊さを国内外に発信。
- ◆大岩孝平(1932～2023年)
自らの被爆体験を原点に、その継承と被爆者援護に尽力。
- ◆正満たつ子(1948～2024年)
市民協働と国際交流を推進し、多文化共生と草の根の平和文化を醸成。
- ◆大村幸弘(1946～2025年)
考古学研究とトルコとの文化交流を通じ、相互理解と友好親善に貢献。

「中学生長崎市平和交流派遣事業」報告会

市内の中学2年生16人が長崎市を訪問し、現地の中学生との交流や平和関連施設の視察を通じて恒久平和について学び、その成果を市民に広く伝えるために活動しています。

派遣生は7月4・12日の事前学習会で三鷹市の戦争の歴史や長崎市に投下された原爆による被害などを学び、メンバー同士での意見交換等を経て、7月29～31日に長崎市を訪れました。現地では、「平和案内人」のガイドを受けながら、原爆落下中心地や浦上天主堂、平和公園などを巡りました。また、山里中学校の生徒と交流し、平和学習を行いました。

今回の報告会では、派遣生たちが事前学習会と現地での体験、「みとか平和のつどい」への参加などを通して、戦争と平和について学んだ成果を発表します。



子どもたちの思いをのせて39年

平和カレンダー



1枚1枚の絵から、子どもたちが思い描く平和が伝わってきます



平成2(1990)年



令和8(2026)年

市では昭和63(1988)年から毎年、小学生が描いた「平和の絵」と市内の子どもたちや市民の皆さんから寄せられた「平和へのメッセージ」を載せた「平和カレンダー」を作成しています。

カレンダーは12月中旬ごろ、希望する市民に配布しています。申し込み方法など、詳しくは『広報みとか』11月15日号でご案内します。

※これまでの平和カレンダーの表紙に掲載された作品は、「みとかデジタル平和資料館」でご覧いただけます。

長年、平和カレンダーの選考に携わる中で、多くの子どもたちが平和について考え、その思いを一生懸命に絵で表現してくれることをうれしく感じてきました。

時代とともに描かれる題材は変化し、近年は世界の争いを映した作品もあります。それでも、家族や友達、自然、笑顔など、身近な人や暮らしを大切に、平和を願う気持ちは変わりません。安心して暮らし、大切な人と笑顔で過ごす。そんな日常も平和なのだと思います。

カレンダーを手にしたときには、子どもたちの思いに心を寄せ、身近な人と平和について話すきっかけになればうれしいです。

選考委員に
聞きました



三鷹市世界連邦運動協会
会長 仁礼均さん



Hello!
ラ・カニャーダ・フイントリッジ市



Vol. 4 自然と散策を楽しむまち

同市には、トレイル(散策路)や自然豊かな公園などがあり、ウォーキングやランニング、犬の散歩、スポーツなど、自然を身近に感じながら暮らしを楽しめることも、このまちの魅力の一つです。なかでも、まちの魅力を象徴するものがトレイルです。散歩やジョギング、自転車、乗馬など、さまざまな楽しみ方があり、その維持管理には市民ボランティア団体も関わっています。こうした、自然を楽しみ、地域で大切に守っていく姿は、「緑と水の公園都市」とうたう三鷹市とも通じるところがあるかもしれません。

ちょこっと豆知識 トレイルの長さ

市内に広がるトレイルをすべて合わせると、その長さは約37km。トレイルごとにさまざまな自然や景色に出会うことができます。



LCFTトレイル協会公式HPより